

柔道整復実技審査 個人票〔評価 1-2〕

(様式 3-2)

養成施設名			
受審番号		受審者名	

実 技 項 目	固定の能力	
	①鎖骨骨折〔リング固定又は8字帯、Sayre テープ固定〕 ②上腕骨骨幹部骨折〔ミッドドルフ三角副子固定〕 ③コーレス骨折〔クラーメル副子と局所副子・三角巾固定〕 ④第5中手骨頸部骨折〔アルミ副子掌側固定〕 ⑤下腿骨骨幹部骨折〔クラーメル副子固定〕 ⑥肋骨骨折〔さらしと厚紙副子固定〕 ⑦肩鎖関節上方脱臼〔テープ固定〕 ⑧肩関節前方脱臼〔局所副子・三角巾固定〕 ⑨肘関節後方脱臼〔クラーメル副子・三角巾固定〕 ⑩手第2指PIP関節背側脱臼〔アルミ副子背側固定〕 ⑪アキレス腱断裂〔クラーメル副子固定〕 ⑫足関節外側靭帯損傷〔局所副子固定〕	⑬膝関節内側側副靭帯損傷〔Xサポートテープ固定〕 ⑭足関節外側靭帯損傷〔バスケットウィーブテープ固定〕 ⑮足関節外側靭帯損傷〔フィギュアエイト・ヒールロックテープ固定〕
出題した問題番号を記入して下さい :		

評価 1-2 ①～⑫ 固定の能力		評価 1-2 ⑬～⑮ 固定の能力	
すべてチェック (できた:○ できない:×、評価できない:ー)			
1) 固定材料の選択が適切である		1) 固定材料の選択が適切である	
2) 患者への説明が適切である		2) 患者への説明が適切である	
3) 助手への指示が適切である		3) 固定肢位が適切である	
4) 固定の準備が適切である		4) 固定の準備が適切である	
5) 固定材料の使用 방법이適切である		5) 固定材料の使用 방법이適切である	
6) 固定の出来上がりが綺麗で適切である		6) 固定の出来上がりが綺麗で適切である	
7) 固定後の確認が適切である		7) 固定後の確認が適切である	
採 点	点	採 点	点
所要時間	分 秒	所要時間	分 秒

コメント (採点が4点以下のときは、詳細な理由を記載すること)	得 点
	点

審査員氏名

審査実施日

令和

年

月

日